

平成 23 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	統合的神経機能の制御を標的とした糖鎖の作動原理解明
領域代表者	門松 健治（名古屋大学・大学院医学系研究科・教授）
研究期間	平成 23 年度～平成 27 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、糖鎖構造の中に秘められた情報を担う機能ドメインを抽出し、神経可塑性や神経回路形成メカニズムを足がかりに糖鎖研究と神経科学を融合させ、新たな領域を形成しようという意義深い研究提案である。研究計画もよく練られ、各計画研究代表者の実績も申し分なく、糖鎖の中に潜む糖鎖シグナルの作動原理の解明が期待できる。生化学と神経科学が結びつき、これまで日本が優位性を保ってきた糖鎖研究をより発展できるものと考えられる。「糖鎖機能ドメイン」という共通キーワードが領域内で十分に理解され、同じ目標に向かって融合研究体制が構築されることにより、公募研究も含めた領域内での共同研究が有機的にすすめば、大きなブレイクスルーとなるであろう。</p>